

活動名	千葉県警察サイバーボランティア（学内公募）
-----	-----------------------

貢献・連携類型	5. 学生の社会貢献活動への参加奨励
---------	--------------------

報告者	応用情報工学科	学科	職位	准教授	氏名	五味 悠一郎
-----	---------	----	----	-----	----	--------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

日本大学理工学部は、令和元年9月10日に千葉県警察とサイバーセキュリティパートナーシップ協定を締結して以降、様々な活動を共同で実施しています。

【日本大学理工学部は、千葉県警察より2019年度サイバーウォッチャーへの協力依頼があり、26名の学生が活動することとなりました。】

<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/news/detail/20190524_381.html>

その活動の一つに、令和2年度より学生が取り組んでいるサイバーウォッチャーがあり、令和6年度からは協定の枠組み内での取り組みとなり活動内容も増えたことから、サイバーボランティアと改称されました。

サイバーボランティアに申し込んだ学生たちは、以下の活動に取り組んでいます。

- 犯罪被害防止のための教育活動
- サイバーパトロール
- 広報啓発活動

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

教員側で申込フォーム等を用意し、庶務課経由で学内の協力学生を募ったところ、日本大学理工学部・日本大学大学院理工学研究科・日本大学短期大学部（船橋校舎）所属の学生21名から申し込みがありました。令和6年9月30日には、千葉県警察より感謝状を拝受しました。

【応用情報工学科4年生金子巧実さんと応用情報工学科 五味悠一郎准教授にそれぞれ千葉県警察本部より感謝状が贈られました。】

<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/news/detail/20240930_1847.html>

今後も千葉県警察との協定に基づき、実務を通じた学びと社会貢献を両立させる取り組みを推進していきます。

対象・相手先	千葉県警察
--------	-------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	千葉県警察、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社との相互協力協定書
-------------------	----------------------------------------------

実施日時	募集期間： 令和7年1月20日～1月24日
------	--------------------------

場所	オンライン、他
----	---------



千葉県警察 サイバーボランティア 大募集! Cyber Crime Prevention Volunteer

● サイバーボランティアって何やるの？

- 犯罪被害防止のための教育活動
 - ・学生数が多い学部では、1人1人個別に指導するのは難しいので、大人数での教育活動を実施しています。
 - ・様々な現場で活動し、最新のサイバー犯罪の被害防止や、被害者のサポートを行います。
 - ・学生自身が活動を通じて、最新のサイバー犯罪の被害防止や、被害者のサポートを行います。
- 広報啓発活動
 - ・サイバー犯罪の被害防止や、被害者のサポートを行います。
 - ・学生自身が活動を通じて、最新のサイバー犯罪の被害防止や、被害者のサポートを行います。
- サイバーパトロール
 - ・最新のサイバー犯罪の被害防止や、被害者のサポートを行います。
 - ・学生自身が活動を通じて、最新のサイバー犯罪の被害防止や、被害者のサポートを行います。

活動内容の一つでも協力していただける方を探しています！

問い合わせ先
千葉県警察本部 生活安全部
サイバー犯罪対策課
043-201-0110 内線3435

千葉県警察本部 生活安全部
サイバー犯罪対策課
043-201-0110 内線3435

本学からの参加者
取りまとめ担当者：応用情報工学科 五味悠一郎
申込学生：【学部】建築1名、海建1名、機械1名、精機3名、航宇1名、電子1名、情報4名、数学4名、物理1名【大学院】航宇1名【短大】総合3名

